

■村制施行70周年記念イベント

中央公民館 1 階ホールで開催した式典は、多くのご来賓や関係者、村民の皆さまにご臨席いただき、定員約230名の会場がほぼ満席となりました。

▶第1部 名誉村民顕彰式

村の歴史・文化・産業の発展にご尽力いただいた方々へ、これまでの功績を称え、名誉村民の称号が贈呈されました。村長から一人ひとりへ賞状とメダル、議長から記念品が手渡されました。



▲オープニング：八雲琴の演奏
(伝承芸能保存会)



▲日本画家
烏頭尾 精 氏



▲考古学者
木下 正史 氏



▲マンガ家
里中 満智子 氏



▲長谷工コーポレーション会長
辻 範明 氏

▶第2部 世界遺産登録記念トークショー

里中満智子氏（マンガ家）、澤田瞳子氏（歴史小説作家）、笑い飯・哲夫氏（お笑い芸人）をゲストに迎え、辰巳俊輔氏（四天王寺大学講師）の進行のもと開催しました。

飛鳥の歴史や文化に深い関わりを持つお三方から、魅力や思い出、世界遺産登録への思い、今後の期待などをお話しいただきました。時折笑いも交じる和やかな雰囲気の中、飛鳥の魅力を改めて感じるひとときでした。



▲（左から）辰巳氏、里中氏、澤田氏、哲夫氏

村制施行70周年、そして「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録という大きな節目を迎えた明日香村。これまで受け継がれてきた歴史や文化、風景を次世代へと繋ぎながら、村民の皆さまとともに、未来に向けた新たな一歩を踏み出してまいります。

■あすかふるさと夏まつり2026

世界遺産登録および村制施行70周年記念を祝し、同日に開催しました。

「明日香たまゆら夜市」は大勢の人で賑わい、フィナーレには花火が打ち上げられ、明日香の夜空を彩りました。



▲明日香たまゆら夜市（提供：明日香村商工会）

8/11 星野リゾートと3回目の連携協定締結

明日香村と星野リゾートは、これまで「企業立地に関するパートナーシップ協定」(2016年)、「地域活性化包括連携協定」(2019年)を締結してきました。

世界遺産登録が決定し、「星のや飛鳥」の開業予定も来年に控えた今年、さらなる連携強化に向けて包括連携協定を締結しました。

■連携事項

滞在型観光の推進、コンテンツ開発・保全活動、地元雇用・人材育成、交通整備、地元食材や産品の活用、地元特産品の共同開発・拡大販売、戦略的プロモーション、受入環境整備、にぎわい創出 等

■プロジェクト推進会議

「交通」「歴史文化」「農業・産業」「プロモーション・広報」の4部会を設けて各事業を効果的に推進し、進捗の確認や課題協議を実施



▲(左から)森川村長、赤羽開発準備室ディレクター

8/7 第26回全日本中学生女子ソフトボール大会 出場

第26回全日本中学生女子ソフトボール大会に飛鳥ヴィクトリーナ SBC の皆さまが奈良県代表として出場されました。

大会出発前には役場へ表敬訪問され、村長から激励の言葉を伝えました。

皆さまのご活躍を心からお祝いしますとともに、今後のさらなるご活躍を期待します。



▲ 7/28 役場へ表敬訪問

8/2 第41回わんぱく相撲全国大会 出場

東京都墨田区両国国技館で開催された第41回わんぱく相撲全国大会に山本玄汰さん(岡大字)が奈良県代表として出場されました。

両国国技館の花道を歩き、貴重な経験をされました。

ご活躍を心からお祝いしますとともに、今後のさらなるご活躍を期待します。



▲山本 玄汰 さん

第76回社会を明るくする 運動作文コンテスト 入選

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。作文コンテストは、運動に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

応募した明日香小学校5年生44名、聖徳中学校1年生35名のうち、明日香村推進委員会において6名が優秀賞に選ばれました。

▶明日香小学校

- ・川俣 璃子 さん「はんざいをなくすために」
- ・西川 瑛翔 さん「社会を楽しくする運動」
- ・松本 稜大 さん「社会を明るくする運動」

▶聖徳中学校

- ・藪内 将之輔 さん
「小さな声が教えてくれたこと」
- ・荻野 航平 さん
「小さな思いやりが社会を明るくする」
- ・藤原 茉央 さん
「犯罪をくり返さないために」

9/5 第31回奈良県消防操法大会 準優勝

近畿運輸局奈良運輸支局（大和郡山市）で行われた大会に高市支部（明日香村・高取町）を代表し、明日香村消防団第3分団がポンプ車操法の部で出場しました。

5月7日（木）に結団式を実施後、毎週2回夜間に訓練を重ねて大会本番に挑み、一丸となって準優勝されました。おめでとうございます。

今後は、その消防操法技術と消防団員の結束力を村民皆さまの安全安心な生活を守るために活かしてください。



▲明日香村消防団第3分団の皆さま

南都明日香ふれあいセンター犬養万葉記念館 黄葉の山に消えた面影

秋山の 黄葉を茂み 迷ひぬる
妹を求めむ 山道知らずも

（巻2・208 柿本朝臣人麻呂）

山々が鮮やかな黄葉に染まる十月。柿本人麻呂の「秋山の黄葉を茂み迷ひぬる妹を求めむ山道知らずも」は、一見すると恋しい人を求めて山中をさまよう歌のように感じられます。しかし、この歌は亡き妻を偲ぶ挽歌として詠まれたものと考えられています。人麻呂の妻は、人麻呂と離れて暮らしていた里で突然亡くなり、人麻呂はその知らせを人づてに聞いたとされています。直接の別れではなく、突然届いた訃報であったからこそ、現実感を伴わぬ喪失の思いが、「黄葉を茂み迷ひぬる」という幻想的な表現になったのでしょう。色深く茂る秋山は、この世とあの世を隔てる境界のようにも映ります。愛する妻を求めながらも、その道を知ることができない。人麻呂の深い悲しみと戸惑いが、秋の景色に重ねられているのです。明日香の山々を歩けば、この歌の情景が目の前に広がるようです。黄葉の美しさに漂う哀感、千年以上の時を越え、今も私たちの胸に響きます。

「いろはに刀剣」が犬養万葉記念館に！

10月17日（土）・18日（日）開催の「おもしろ歴史フェスティバル」内の特別展「いろはに刀剣」にて、当館が無料展示会場となる予定です。詳細はHPにて随時お知らせしますので、どうぞお楽しみに！



▲HPはこちら

- ・開館時間 10時～17時
- ・カフェ営業時間 11時～16時
- ・休館日・定休日 月曜日（祝日の場合は翌火曜日）

☎54-9300 WEB:<http://inukai.nara.jp/>